

since 1920

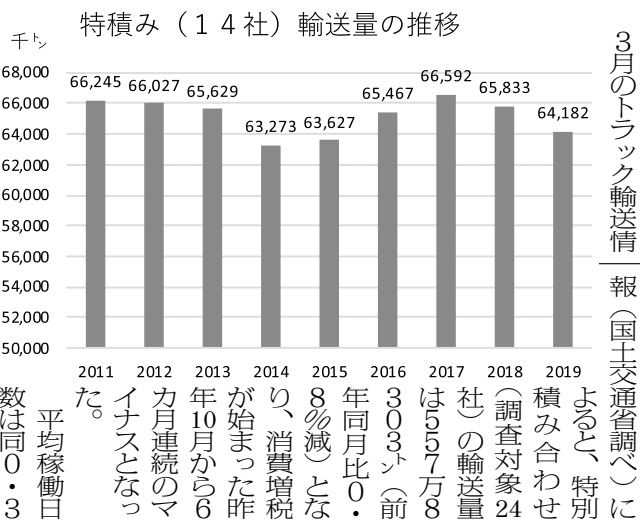
運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野口香織
火・金発行(祝日を除く)
3,600円/月(送料・税込)

202年
6月2日(火)
第17306号

TREX 先端のニーズに応える技術力で
輸送社会の未来を開く!
 日本トレクス株式会社



2019年度 特積み2年連続減 宅配は5年連続増を維持

3月のトラック輸送情報(国土交通省調べ)によると、特別積み合わせ(調査対象24社)の輸送量は557万8303ト(前年同月比0.8%減)となり、消費増税が開始された2014年10月から6年連続のマイナスとなった。1月以降3カ月連続のプラスとなった。

一般トラック事業者による輸送量は前年同月比0.1%減。東北、北陸信越、九州、沖縄は前年同月を上回ったが、それ以外は四国(6.9%減)

日増の24.0日、稼働1日当たり輸送量は23万2429ト(同2.0%減)。化学工業品、食料工業品、日用品が減少した。

宅配取扱個数(調査対象14社)は3億6800対(同5.4%増)と3個(同5.4%増)と1月以降3カ月連続のプラスとなった。

4月は大幅低下も直近は下げ止まり

軽油価格

石油情報センターがまとめた4月の軽油インタック価格は(消費税抜き)1リットル83.4円(前月比11.0%低下)となり、これで2カ月連続して2ケタの低下となった。80円前半は2016年6月

宅配取扱個数は42億5839万個(同0.8%増)となり、微増ながらこれで2015年度から5年連続のプラスを維持した。

一般トラックは、特積み同様昨年10月以降マイナスが続いており、年度全体で2.3%減。

6月以降の燃費サーチャージはゼロに

ANA 日本 発国際線貨物

ANAグループは、シンガポール・ケロンシンの4月の平均価格が1バレルあたり21.90米ドルとなったため、6月1日から日本発国際線貨物燃費サーチャージを改定した。

北米で新車販売を廃止

三菱ふそうトラック・バス(MFTBC)は、米国とカナダ市場で新車販売事業を廃止し、サービスに特化した運営体制に転換する。

子会社がケイジー物流を子会社化

大王製紙

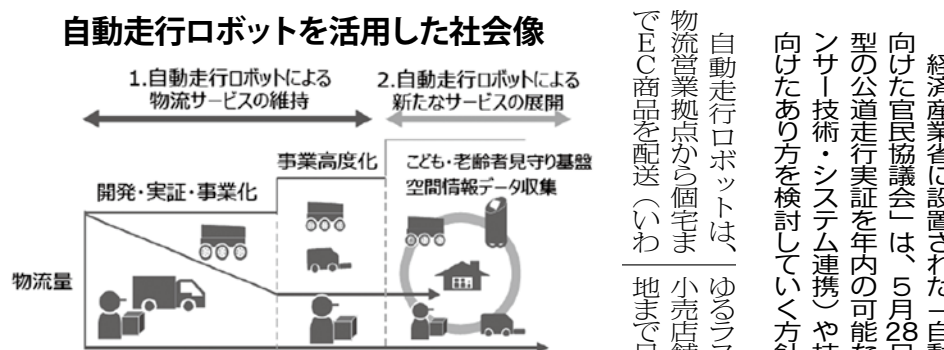
大王製紙の子会社、ダイオロックスティクス(DLC、本社愛媛県四国中央市)は、関東・九州に物流拠点を持つケイジー物流(同千葉市)の全株式を取得し子会社化する。株式取得の相手

お知らせ

緊急事態措置期間中、弊社のホームページに毎号一面のPDFを掲載しています。緊急事態は解除されましたが、在宅勤務が推奨されており、当面の間、掲載を続けます。

運輸新聞株式会社

自動走行ロボット 公道走行実現に向け 安全技術・活用方策検討へ



自動走行ロボットは、ゆるいストロム(マイル)、物流営業拠点から個宅まで、小売店舗から個宅・指定地まで日常生活品を配達するほか、商業施設のバックヤードの館内配送などが想定されている。

新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される中、遠隔・非対面・非接触の配送ニーズが増加し、配達員不足が見込まれる中で、自動走行ロボットを活用した社会像が描かれている。

実現には、車道では想定されない段差や看板などの検知(センサー技術)、配送システムと自動走行ロボットの連携などの技術開発が必要になる。このため、同協議会にワーキンググループ(WG)を設置し、これまでロボットの様に関する安全性

評価や安全な運用に関して検討してきた。

今後、官民協議会およびWGは、公道走行実証を実現することにも、さまざまな自動走行ロボットの活用や非公道走行、

課題の整理やロードマップの策定などを検討していく。この中で、ラストワンマイルでの人手不足解消に加え、配送と同時に巡回による防犯や高齢者の見守りなどもロボット

により実現していく。

なお、経済産業省は今年度の補正予算で自動走行ロボットによる配送サービス実現に向けた技術開発事業費3億円を計上している。

は株式に代わり現金を交付。

センコーグループホールディングスは、対象取締役に対して支給された金銭報酬の全部を現物出資財産として払い込み、普通株式の発行を受ける。支給される報酬総額は、現行の金銭報酬額とは別枠で年額3000万円以内とし、発行または処分される普通株式の総数は年6万株以内とする。譲渡制限付株式報酬。これに伴い、あらかじめ決められた価格で自社株を購入できるストックオプション制度を廃止する。

ケイジー物流は、自動車部品輸送を中心に輸送と倉庫業務のノウハウを蓄積約70台のトラック、乗務員を有する。株式取得により、消費地におけるケイジー物流の物流ネットワークと大王製紙グループの製品配送を組み合わせたこと、復荷を活用したグループ外への販売をさらに向上させていくことによるシナジー効果が見込める。

ケイジー物流は1970年設立、資本金1億円。2019年3月期の経営成績は、売上高21億8300万円、営業利益8200万円。

お知らせ

緊急事態措置期間中、弊社のホームページに毎号一面のPDFを掲載しています。緊急事態は解除されましたが、在宅勤務が推奨されており、当面の間、掲載を続けます。

運輸新聞株式会社

蛍